

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 24 日(2022.1.24)

【公開番号】特開 2020-199063(P2020-199063A)

【公開日】令和 2 年 12 月 17 日(2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-051

【出願番号】特願 2019-107823(P2019-107823)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 14 日(2022.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装飾識別情報の可変表示と該装飾識別情報と異なる所定識別情報の可変表示とを始動領域に遊技媒体が通過したことに基づいて行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、

遊技者にとって有利な第 1 状態と、遊技者にとって不利な第 2 状態とに変化する可変手段と、

前記有利状態中に前記可変手段を前記第 2 状態から前記第 1 状態に変化させる所定遊技を複数回実行可能な所定遊技実行手段と、

前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、

遊技機が前記設定確認状態に制御された旨を報知する状態報知手段と、

前記有利状態に制御される期待度を示唆する予告演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記予告演出として、演出操作手段への操作を伴う操作演出を含み、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が許可される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

40

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が許可され、該割込処理が許可された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記変化期間が計時されている間に遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の計時が再開され、

前記設定確認状態に制御された場合に、所定識別情報の可変表示及び前記操作演出は、実行されない、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そのような遊技機において、遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能である遊技機がある（特許文献1）。このような遊技機において、設定値を確認するための設定確認処理では、実行中のメイン処理が全て終了したときにしか次の処理へ移行できなかった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献1】特開2010-200902号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

しかし、特許文献1のような遊技機の場合、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行することができなかった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定確認をすぐに行うことができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

手段1の遊技機は、

装飾識別情報の可変表示と該装飾識別情報と異なる所定識別情報の可変表示とを始動領域に遊技媒体が通過したことに基づいて行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、

遊技者にとって有利な第1状態と、遊技者にとって不利な第2状態とに変化する可変手段と、

前記有利状態中に前記可変手段を前記第2状態から前記第1状態に変化させる所定遊技を

10

20

30

40

50

複数回実行可能な所定遊技実行手段と、

前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、

遊技機が前記設定確認状態に制御された旨を報知する状態報知手段と、

前記有利状態に制御される期待度を示唆する予告演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記予告演出として、演出操作手段への操作を伴う操作演出を含み、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が許可される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が許可され、該割込処理が許可された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記変化期間が計時されている間に遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の計時が再開され、

前記設定確認状態に制御された場合に、所定識別情報の可変表示及び前記操作演出は、実行されない、

ことを特徴とする遊技機。

手段 A 1 の遊技機は、

遊技状態を制御する遊技状態制御手段（CPU103）と、演出を制御する演出制御手段（演出制御用CPU120）とを備え、有利度が異なる複数の設定値（大当り判定用乱数の範囲が異なる設定値 1～6）のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、

前記遊技状態制御手段（CPU103）は、

遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態）と、前記有利状態とは異なる特殊状態（小当り遊技状態）と、前記特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態（高確 / 第 2 KT 状態）と、に制御可能であり、

前記演出制御手段（演出制御用CPU120）は、

前記特別状態（高確 / 第 2 KT 状態）において遊技者の動作（遊技者によりプッシュボタン 31B を操作されたこと）に基づいて、複数種類の演出モード（曇りモード、雨モード、及び台風モード）のうちのいずれかの演出モードに制御可能であり、

演出モードに応じて、前記特殊状態の制御に対応した所定演出と装飾識別情報の可変表示の態様と、を異ならせることが可能であり（図 11 - 3（A1）～（A3）に示すように、演出モードが曇りモードである場合には、第 2 特別図柄の変動表示結果が「小当り」となるときに、図柄表示エリア 5C に特殊図柄 18TM050（楕円形のオブジェクトに「OPEN」の文字が示された小当り図柄）を確定停止させており、図 11 - 4（B1）～（B3）に示すように、演出モードが雨モードである場合には、第 2 特別図柄の変動表示結果が「小当り」となるときに、図柄表示エリア 5L、5C、5R に奇数図柄の順目となる飾り図柄の組み合わせ（本例では、「135」）を確定停止させており、図 11 - 5（C1）～（C3）に示すように、演出モードが台風モードである場合には、第 2 特別図柄の変動表示結果が「小当り」となるときに、図柄表示エリア 5L、5C、5R にエフェクト画像 18TM060（本例では、音符型の画像）が重畳表示された飾り図柄の組み合わせを確定停止させている）、

さらに、

可変表示パターン（変動パターン）の選択割合が設定値によらず共通であり（図 18 - 6 に示すように、変動パターン判定テーブルの判定値は設定値によらず共通であり）、

前記特別状態（高確 / 高ベース状態（確変状態））には、第 1 期間（遊技状態が高確 / 高ベース状態（確変状態）に移行してから、所定回数（50 回又は 100 回）の特図ゲームが実行されるまで、或いは該所定回数の特図ゲームが実行される前に大当り遊技状態となるまでの期間）と、該第 1 期間の後の第 2 期間（遊技状態が高確 / 高ベース状態に移行してから、大当り遊技状態となることなく所定回数（50 回又は 100 回）の特図ゲームが

10

20

30

40

50

実行された後の期間（５１回以降又は１０１回以降）とがあり、
前記第１期間では、所定期間よりも可変表示期間が長い可変表示パターンの選択割合が前記第２期間よりも高く（図１８－６（Ａ１）及び（Ｃ１）に示すように、表示結果が「はずれ」となるときに、第１期間〔最終変動を除く〕では、「非リーチはずれ（短縮変動）」（変動表示期間が５秒）よりも長い変動表示期間である「ノーマルリーチはずれ」（変動表示期間が３０秒）又は「スーパーリーチはずれ」（変動表示期間が６０秒）が選択される割合が第２期間よりも高くなっており）、

前記第２期間では、前記所定期間よりも可変表示期間が短い可変表示パターンの選択割合が前記第１期間よりも高い（図１８－６（Ａ１）及び（Ｃ１）に示すように、表示結果が「はずれ」となるときに、第２期間では、「非リーチはずれ（短縮変動）」（変動表示期間が５秒）よりも短い変動表示期間である「非リーチはずれ（高速変動）」（変動表示期間が１秒）が選択される割合が第１期間〔最終変動を除く〕よりも高くなっている）

10

ことを特徴とする遊技機。

このような構成によれば、遊技状態が特別状態であるときに健全な遊技性を実現するとともに遊技の興趣を向上させることができる。さらに、遊技者の動作により演出モードを選択可能となるため、特別状態における遊技の興趣を向上させることができる。

20

30

40

50